黒埼町の今昔

町史編さん課

木場下組敬神演芸部(二)
神聖な伝統芸「神楽舞」と珍芸「神楽の寝せ起こし」

神楽舞のけいこ

◆黒山の人だかりをつくった神楽舞のけいこ

本物の笛太鼓に合せての神楽舞の練習は、師匠の加藤家の前などでよく行われ、練習の晩には同家の前に電球がともされ、踊りのけいこを見ようと集まった部落の人たちで黒山の人だかりができたという。

神楽舞の練習もまた、棒踊りなどに劣らぬ厳しいもので、特に頭持ち(神楽の頭の役)は、舞の始めから終わりまで、かぶった神楽の内にある直径三、四㌢の木の棒をしっかりと口にくわえ、歯でかんでいなければならないため、歯の悪い人はとても務まらないといわれた。また歯がいくらよい人でも、長く練習をした翌日あたりは歯が痛くて合せられないほどだったという。

◆四つの踊りからなっている神楽舞

神楽舞は、次のような四通りの踊りからなっている。

㈠舞込み　笛と太鼓のみ

頭持ちは神楽をかぶって、しっぽ持ち(神楽の尾の役)は唐草のふろしき(神楽の体と尾の部分)を精いっぱい引っぱり、頭を出して前の頭持ちの動作に合せて踊る。

㈡悪魔払い　太鼓と神楽歌で踊る

頭持ちは神楽をかぶり、右手に榊を持つ。しっぽ持ちは頭持ちの動きやすいように唐草のふろしきをねじって細くし、それを自分の左肩から右肩に巻いてかける。頭持ちが「伊勢ーー、開ーきーのー、十六夜ー神楽がー舞いー遊ぶのー、皆ー信心ーのー御幣をー持ちーてーはー悪魔ー払うのー」という歌に合せて、右手の榊を振って悪魔払いのしぐさをすると、しっぽ持ちもそれに合せて、右肩からさがった神楽のしっぽを振る。

㈢舞込み　笛と太鼓で踊る

頭持ちもしっぽ持ちも神楽の中に入って踊る。神楽舞の一番最後の踊りで、最高潮に達したとき、棒踊りの四人が棒を持って神楽の中に入り、神楽の体の雄大さを示して、外敵を威圧する勇壮なものである。

以上㈠から㈢の踊りを合せて神楽舞と称し、この踊りを演じ終わるまで、約十分はかかる。

◆珍芸「神楽の寝せ起こし」

昔、神楽舞が終わると、よく余興として舞われて拍手喝采を受けたのが「神楽の寝せ起こし」という珍芸である。

一般に神楽舞といえば、悪魔を払う神聖で厳粛なものと思われているが、この踊りは、それとガラリと違って、病気になった神楽が、才蔵のユーモアたっぷりの口上に乗せられて踊り出すという、才蔵の口上と、それと一体となって踊る神楽のしぐさが見ものの、たのしい踊りである。

神楽舞

それまで舞台の中央を元気いっぱいにはね回っていた神楽が、急にばったりと倒れ全く動かなくなってしまう。

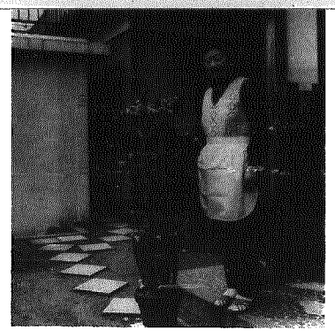
ここで才蔵が口上を述べる。「今は今まで、伝い回れば威勢よくしなよく気嫌もよく、舞い遊びましたがなれど、今は虫がしゅくしょうやら、ただし持病の再発やら、この場にどっと倒れたばかり、いまだかつてゲン(効能)はなし、よっておくすりと申しましては、浅間の山のハンゴン丹、越中富山のセンキン丹、海の向うの朝鮮ニンジン、越後角田の毒消し丸、鳥原真浄寺の赤ダマ園、木場満行寺のキンショウ丸(当時有名な薬の名を全部述べ上げる)などを飲ませましたがなれど、その後やっぱりゲンはなし、よってお医者さんにつきましては、白根町の白根病院、鷲ノ木の真柄医院、板井の丸山医院、黒鳥の遠藤医院、木場の土田医院、みな見せましたなれどもさっぱりゲンはなし、よって下へ下りましては、大野町の清水医院、鈴木医院、松井医院、耳鼻咽喉科の伊田医院に歯科の木暮医院に国井医院、ぐっと下って新潟市の大学病院、ガンセンター、宗村外科に長谷川病院などに見せましたけれども、それでもさっぱりゲンはなし、よってこの才蔵が年百年中腰からはなしたことのない、万金丹を一服飲ませてお目にかけまーすー」。

さて、こうして踊った「神楽の寝せ起こし」は、近年全く見られない。この踊りは才蔵の口上が売り物で、その口上なしに成り立たない。この口上を覚えている人を探したが、長く才蔵役を務めた土田惣二郎さん以外おられなかった。そこで土田さんにお願いし、口上を記録することができた。

執筆・宮田栄門

ニュース足報

毎月15日ごろまでに連絡を



田中三郎さん宅(上山田1)のサボテン。「6年間で1m30㎝ぐらいに成長し、花がたくさん咲いて驚いています」とヨキさん(写真)

善意の窓

✱広川一義さん(興野二区)が香典返しの二十万円を老人福祉に役立ててと寄付。

✱黒埼町建設業協会(野崎太策会長)が一般寄付金として三十万円を寄付。

✱大野正暎さん(鳥原大明)がギャッチベッド一式を寄贈。

表彰おめでとうございます

長谷川清治さんに勲六等瑞宝章

長谷川清治さん(鳥原新田・65歳)が春の叙勲として、5月に勲六等瑞宝章を贈られました。昭和16年から50年まで34年間にわたる消防団での活動が認められたものです。この間、昭和38年から42年まで黒埼村消防団副団長、昭和42年から50年まで黒埼町消防団団長として活躍、消防団の育成と発展に貢献しました。

一〇キロを歩け歩け

今年で第七回を迎えた町民歩け歩け大会が四月二十九日㈬、子供からお年寄りまで約四十人が参加して行われました。当日は暖かな晴天。総合体育館で午前九時に出発し、中の口川提防、新幹線側道など約十キロを歩いて一人の脱落者もなくお昼に戻ってきました。全員でとん汁の昼食を食べて解散しました。

親子祭りに三五〇人

青空の下で仲良しになろうと、黒埼親子劇場では四月二十九日㈬、善久の河川敷公園で親子祭りを開きました。町内から三百五十人のお母さんお父さん、子供たちが集まり、フォークコンサートやゲーム、ダンスで楽しみました。また、参加者自らおもちゃや軽食のお店も出し、一日中歓声が絶えませんでした。

みんなで合唱

金巻の利樹園わき

テレビで全国に放送

どうぞよろしくと小林局長

立仏郵便局が移転

立仏簡易郵便局が五月一日㈮から立仏九八番地に新築移転し営業しています。新局舎は平屋建ての七坪。周りに花が植えられ小さなかわいい郵便局です。業務は積立貯金以外の切手、年金、貯金などを取り扱っています。新局長の小林尚子さんは「地域の郵便局として家計簿がわりに利用してほしい」と話しています。

タイヤ交換を競う

五月十日㈰夜の八時ごろ山田の新潟トラックステーションで、トラックタイヤ交換コンテストが行われ、県内の運送会社六社から各一人代表のトラック運転手が出場し、日ごろ鍛えた腕を発揮していました。なお、これはフジテレビが企画したもので、「TVハッカー」という番組で生中継で全国放送されました。

6月14日㈰

町内運動会

黒埼中グラウンド

スポーツ大会

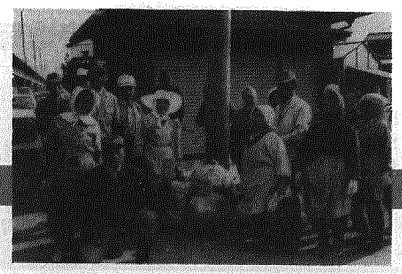
◆近郷中学校野球大会

5月3日㈰、4日㈪。木場野球場グラウンド。参加校…16校

①内野中②小針中③巻東中、小新中。黒埼中は1回戦で小新中に4ー6で敗退。

環境週間

6月5日～11日



◆5月10日㈰、各自治会では衛生委員、婦人会、老人会、子供会等の協力により、全町一斉空き缶回収を実施しました。早朝の2時間ほどで、町内で拾われた空き缶は約3トン。自動車の交通量が多い町道・広域農道で、特に投げ捨てが多いようです。考えてほしいですね。マナーを。(写真は山田地区)

みんなで築くよりよい環境